



近隣4町村の小学校5・6年生が白熱したレースを展開

1本のタスキに ★願いを込めて★

第13回小学校対抗駅伝大会

晴天となった12月1日(日)、ふれあい坂田池公園を会場に小学校対抗駅伝大会が行われました。子どもたちの健全育成を願い、スポーツの振興と交流を深めてもらうと総武中央ライオンズクラブ(永野貞雄会長)の主催で開催されているこの大会には、横

芝町、松尾町、芝山町、蓮沼村の小学校5・6年生、176名が参加。

レースは、各小学校から11チームが出場し、午前9時45分に5年生の部からスタート。坂田池約1,330mを周回するコースで行われ、会場に集まった先生や父兄などの盛んな声援の中各選手が1本のタスキに願いを込めて健脚を競い合いました。

また会場では、ライオネスクラブ(石田貞子会長)のみなさんから選手や父兄などに甘酒がふるまわれ、みなさん冷えきった体を温めていました。

町内の主な結果は次のとおりです。
—敬称略—

- 団体(5年) 準優勝 横芝小学校Aチーム
- 区間賞(5年) 2区 真行寺祐輝(横芝小A)
- 6区 高橋 直毅(横芝小A)
- 区間賞(6年) 4区 斉藤 元嗣(横芝小A)
- 最優秀選手(5年) 真行寺祐輝(横芝小A)
- 最優秀選手(6年) 斉藤 元嗣(横芝小A)



93歳の五木田さんも元気に参加

横芝中2年生209名が 職業体験学習

横芝中学校では、教室での進路学習だけでなく、生徒自身が自らの目や耳で働くことの喜びや厳しさを知ってもらおうと、職場体験学習を行っています。

今年は、11月22日に横芝中学校の2年生209名が、町内外の各事業所など39ヶ所を訪問。役場にも男子3名、女子6名の計9名が訪れ、総務課長から役場の全般的な仕事内容の説明を受けた後、各課で実際にパソコンなどによる事務処理を体験しました。



各事業所での職業体験は、これからの進路に役立つことがあるはず

生き甲斐を持った老後生活 老人クラブゲートボール大会

11月19日、ふれあい坂田池公園の芝生広場を会場に、第16回町老人クラブゲートボール大会が開かれ、参加した18チーム約120名のお年寄のみなさんは、日頃の練習成果を存分に発揮し、それぞれが楽しく競い合っていました。

この大会は、高齢者地域福祉活動促進事業(ふれあい交流事業)の一環として行われているもので、高齢者の体力づくり・健康づくりを図るための大会。今回

の出場者中最高齢者、桜前チームの五木田左京さん(93歳)もまだまだお元気で、的確にゲートをとらえています。

ますます進む高齢化社会ですが、五木田さんのように生き甲斐を持った老後生活を送りたいものです。

- 主な結果は次のとおりです。
- 優勝 栗山チーム
 - 準優勝 鳥喰沼チーム
 - 第3位 立会Aチーム